



## 「総選挙後」を見据えて

理事 春日 秀樹

今年は真夏にもかかわらず新型インフルエンザが蔓延し、死亡者も出始めています。秋には更に感染の拡大が危惧され、いずれ高齢者にも患者が多くなり、重症者への対応に追われることになりそうです。現場の

医療機関が混乱しないように国や自治体はしっかりした対応策を講じてほしいものです。

この原稿を書いている一週間後には衆議院選挙の投票が行われ、政権の行方が決まりますが、直前の予想でも民主党が圧勝しそうな勢いです。民主党が天下を取っても日本が今迄と土台のところで大きく変わることはないでしょうが、医療や福祉における制度改革はマニフェストによるとかなり断行されそうです。

我々の期待する大幅な診療報酬アップは財源が定かではなく、糠喜びにならないかと思いますが、後期高齢者医療制度、療養型病床の削減、外来管理加算の5分間要件などは廃止することを謳っています。また中医協のあり方にも論議をよぶことになると思われます。

いずれにしても長年続いてきた医療費抑制策が見直され、医療費の拡大へと転換が打ち出されてきたことは画期的なことと言えます。医療の質の向上のためには医療費の拡大なしでは無理と言えます。しかし費用の分配にめりはりをつけるということでもいつも削減のターゲットにされるのは薬価であり、毎回改訂の度に引き下げにあっています。

医師協はじめ薬の卸売業は、メーカーからの奨励金が減り、そのうえに納入単価が下落し軒並み厳しい経営環境になっています。そんな中でも医師協は手堅く歩んでいますが、近い将来を見据えますと新しい事業を模索していく必要性もあるかと思います。そのためには投資も伴うかも知れませんが、新しいことに取り組む姿勢は活性化と職員の意欲向上にも繋がります。組合という性格上あまりリスクのあることはできないでしょうが、会員の皆様に貢献しつつ、企業としての視点をもって経営の安定、発展をめざすべく、いささかなりともお役に立てるように努めてまいります。

今後ともご支援ご鞭撻のほどを宜しくお願い致します。

(平成21年 8月25日)

### 紙上フォト・ギャラリー

#### 悠々と

沖縄美ら海水族館は一日楽しめます。特にこのジンベイザメがいる「黒潮の海」は、ぼ～っと眺めているだけで癒されます。

撮影／神本 博勝 (神戸市東灘区)

<http://www.kami-moto.com/>

